

日本特殊陶業(株) 本社工場

所在地：愛知県名古屋市瑞穂区高辻町14-18
 創立：1936年(昭和11年)10月
 工場長：大島崇文
 主要事業：スパークプラグ及び関連品等に関する設計、製造及び販売
 従業員：990人(2007.12現在)



●代表者の緒言



工場長 大島崇文

本社は、商業区域や住宅地に隣接した名古屋市の中心部に位置しています。したがって、本社は、その機能面からオフィス部分の占める面積が他工場よりは多く、その立地条件からは、環境に対する数値目標の達成はもちろんのこと、近隣に対しても十分に配慮した環境活動を行っています。

2007年度は、CO₂総排出量削減に対しては、コンプレッサーの運転方法変更による電力削減や新GS炉の導入等により期初削減目標をクリアすることができました。また、水・廃棄物の削減等その他の取り組みについても期初目標を達成することができました。

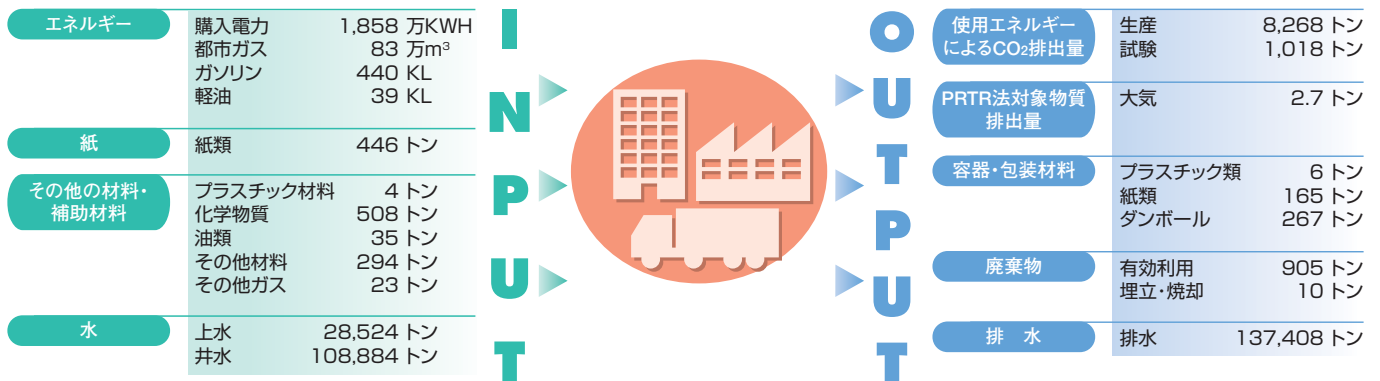
今期も更なるCO₂・水・廃棄物削減に取り組み、地域清掃や「ゴミゼロ」運動にも参加して、地球規模で考え、かつ、地域にも根付いた環境活動を目指していきます。

●ISO認証状況



取得年月
 ■1999年8月
 認証機関
 ■TUVラインランドジャパン
 認証書番号
 ■09 104 8237/1
 ※日特アルファサービス(株)、名古屋営業所、名古屋物流センターを併せた認証書です。

●マテリアルバランス



●環境データ (調査期間:2007年4月~2008年3月)

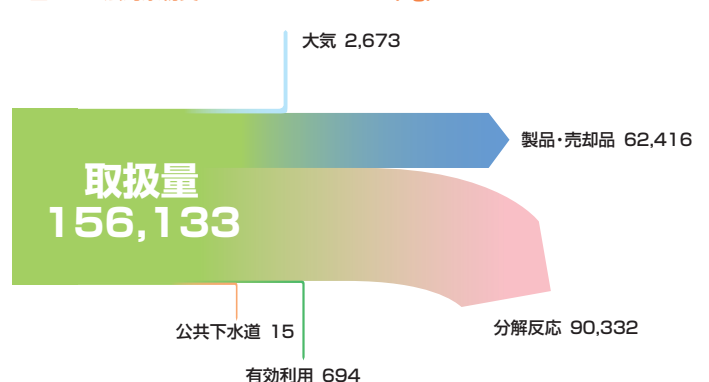
■PRTR

政令No.	対象化学物質名 (報告対象物質)	取扱量	排出量			移動量			除去処理量	搬出量
			大気	公共用水域	土壌	公共下水道	埋立・焼却	有効利用		
40	エチルベンゼン	5.037	0					5.037		
63	キシレン	24.525	1				0	24.523		
68	クロム及び3価クロム化合物	6.632				1	0	613	6.018	
108	無機シアン化合物 (錯塩及びシアン酸塩を除く。)	1.105				14		817	273	
144	ジクロロペンタフルオロプロパン (別名HCFC-225)	2.600	2,600						0	
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	2.578						2,578		
227	トルエン	55.351	72				0	55.279		
231	ニッケル	56.206						81	56.125	
299	ベンゼン	2.099	0					2,098		

■大気・水質・騒音

項目	種類	単位	規制値	自主基準値	平均	MAX
大気	ばいじん	ポイラー(12号) mg/Nm ³	50	40	2.0	2.0
	焼成炉(PR-2)	mg/Nm ³	150	120	10.5	11.0
	NOx	ポイラー(12号) ppm	150	120	42	42
	焼成炉(PR-2)	ppm	180	144	67.5	70
排水 (下水道)	pH	-	5.0~9.0	5.4~8.6	6.9	7.3
	SS	mg/l	600	480	13.3	29
	BOD	mg/l	600	480	16	36
	n-ヘキサン抽出物	mg/l	30	24	1.1	2.8
	シアン	mg/l	1	0.8	0.16	0.3
	全クロム	mg/l	2	1.6	0.06	0.09
	六価クロム	mg/l	0.5	0.4	0.06	0.06
	亜鉛	mg/l	2	1.6	0.59	0.97
	鉛	mg/l	0.1	0.08	<0.02	<0.02
	窒素	mg/l	120	96	15.7	29
	リン	mg/l	16	12.8	0.33	0.67
騒音	昼間	R地点 dB	70	68	60.4	60.4
		T地点 dB	65	63	63.5	*1 63.5
	昼間	R地点 dB	70	68	60.6	60.6
		T地点 dB	65	63	66.2	*1 66.2
	夕方	R地点 dB	70	68	62.4	62.4
		T地点 dB	65	63	64.8	*1 64.8
	夜間	R地点 dB	65	64	58.4	58.4
	T地点 dB	55	54	61.8	*1 61.8	

■PRTR法対象物質のINPUT-OUTPUT (kg)



*1 暗騒音によるものです。暗騒音とは、機械等が稼働していない時の騒音のことです。交通騒音や隣接工場の騒音などの影響を受けています。

●2008年度主な環境目的・目標

マネジメント	緊急時対応教育・訓練を実施	プロダクト	スパークプラグ重量5%減(2003年度比)
	環境関連事故・環境苦情件数ゼロ		効率的な物流システムの構築
	環境法規制違反件数ゼロ		コミュニケーション
CO ₂ 排出量を本社で155トン/年の削減を実施する	環境イベント等へ参加する		
ファクトリー/ オフィス	廃棄物の排出量を本社で30トン/年削減を実施する		
	コピー紙の使用量を248枚/人以下		
	水使用量を本社で3,042m ³ /年削減を実施する		

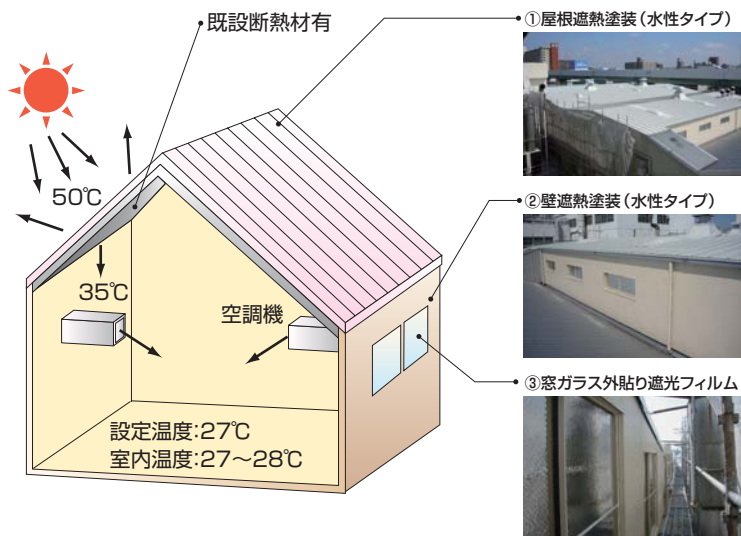
●2007年度の環境目的・目標と実績

取り組み項目	管理項目(目的・目標)	2007年度の実績	実績評価
環境事故・苦情報告及び法規制違反件数ゼロ	・発生件数をゼロにする ・緊急事態及び不適合是正処置の報告はゼロ件目標	・事故及び法規制違反なし ・苦情1件…悪臭に対する改善要求あり (原因:配管接続部品の劣化による排ガス漏れ) (対応:劣化の起こらない接続方法に変更)	×
温暖化防止 CO ₂ 総排出量削減	170トンCO ₂ /年の削減対策を実施する	171トンCO ₂ の削減を達成した	○
水資源の有効利用	5,880m ³ /年の削減対策を実施する	節水対策を実施し、実績として6,191m ³ 削減できた。	○
廃棄物排出量削減	12トン/年の削減対策を実施する	製造部の工程不良率低減活動が実を結び、削減実績が22.8トンとなった	○
コピー紙使用量削減	2002年度目標値 248枚/人を維持継続する	228枚/人	○
PRTR対象物質の排出量削減	HCFC225の全廃化	2008年4月1日に代替化完了した。	○
その他	・周辺清掃回数(2回/年) ・「ゴミゼロ運動」への参加	2007年5月21日、2008年3月19日の2回の工場周辺地域清掃活動を実施した	○

●法規制遵守状況(2007年度)

法規制違反、罰金、訴訟の件数	0	利害関係者からの要求の件数	1
----------------	---	---------------	---

●省エネ対策実施例(屋根及び壁の遮熱塗装、遮光フィルム)



■省エネ効果

削減電力量	9,112KWH/年(夏季6~9月のみ)【昨年比▲56%】
効果金額	113千円/年
CO ₂ 削減量	3ton-co ₂ /年
対策費用	2,680千円 (屋根、外壁塗装+フィルム貼り費)

■付帯効果

1.建物屋根材への保護(老化防止)	3.空調機器の長寿命化
2.室内作業環境の改善	4.水性塗料により環境影響が少ない

●マインド(教育・啓蒙)

2007年9月12日に従業員への「安全」「健康」「環境」の啓蒙活動の一環として、本社地区「安全衛生・環境大会」を開催した。大会の内容は「健康に関する講演」と各種パネル展示。



●地域清掃活動



2007年 5月21日	
工場周辺地域清掃活動	32名
2008年 3月19日	
工場周辺地域清掃活動	34名

■お問い合わせ先

本社環境安全部 TEL 052-872-5980